

事務事業名		観光センター管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分		
	基本事業名	0 3 観光宣伝の充実		単年度繰返		
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		【開始年度】		
	課長名	森 正		令和3 年度～		
	係名	-		-		
	担当者	紀室 繁喜	電話	0192-27-3111	事務事業区分	
			内線	114	E 一般	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
<p>当市の観光振興を図るため、観光案内や観光情報の発信、物産振興等の拠点として、三陸鉄道株式会社の盛駅・綾里駅・三陸駅に設置した観光センターの管理運営を行う。</p> <p>事業費は、当市の観光の中心的な役割を担い、観光案内や観光情報の発信等の取組を行っている一般社団法人大船渡市観光物産協会への委託料として支出する。</p>				総投入量 (千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
					事業費計(A)	0
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
三陸鉄道盛駅・綾里駅・三陸駅において実施する市内及び周辺の観光案内や見所の紹介等の業務、観光情報の発信、施設等を活用した観光案内及び観光・物産振興、施設の管理及び環境整備等		ア	観光センター数
		イ	
		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		単位	
三陸鉄道盛駅における市内及び周辺の観光案内や見所の紹介等の業務、観光情報の発信、施設等を活用した観光案内及び観光・物産振興、施設の管理及び環境整備等			件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・潜在的な観光客		名称	
		カ	日本の人口
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・当市への観光客の増加		名称	
		サ	市内観光入込客数(年実績)
		シ	市内宿泊者数(年実績)
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		単位	
・大船渡市を訪れる。			千人
・魅力がPRされ、認知度が高まる。			千人

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	8,189	9,112	3,130	3,130	3,130	
	事業費計(A)		千円	0	8,189	9,112	3,130	3,130	3,130	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	0	20	20	20	20	20	
		人件費計(B)	千円	0	80	80	80	80	80	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	8,269	9,192	3,210	3,210	3,210
⑤ 活動指標		ア	件	0	3	3	1	1	1	
		イ								
		ウ								
⑥ 対象指標		カ	千人	0	125,071	124,554	124,554	124,554	124,554	
		キ								
		ク								
⑦ 成果指標		サ	千人	0	484	584	640	797	817	
		シ	千人	0	132	159	182	228	234	
		ス								

事務事業ID	1816	事務事業名	観光センター管理運営事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 一般社団法人大船渡市観光物産協会は、平成26年度より復興支援員制度を活用して観光振興支援員を雇用し、観光センターの運営など観光振興に取り組んできた。この制度の令和2年度での終了に伴い、観光施策の効率的・効果的な推進を図るため、令和3年度より、観光センター管理運営事業を実施した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 当市の震災後における観光客入込状況は、平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であったが、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。しかし、令和2年の観光客入込状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年比45%増の430千人と大幅に減少した。令和3年、4年も厳しい状況が続いており、観光情報発信等による認知度向上の取組が重要となっている。
 また、令和元年度に、業務を委託していた大船渡市観光物産協会より、観光センター運営事業からの撤退の意向が示され、令和2年度に関係団体や地域との協議を進め、一部の観光センター運営事業を令和4年度で終了することとした。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 関係者からは、当市の観光振興の推進を求める意見が寄せられている。
 また、令和4年度をもって廃止した三陸町観光センターについて、市民による施設を利用した観光案内事業の実施について相談が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▼ 理由・内容 当事業は、にぎわいあふれる観光の推進に向けた市の政策に直結する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▼ 理由・内容 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光客がようやく回復傾向を見せ始めた状況において、市がコロナ禍に対応した誘客に資する事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▼ 理由・内容 潜在的な観光客を対象とした事業の実施により、当市への観光客の増加を目指すことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▼ 理由・内容 平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であった観光客数が、観光振興の各種取組の成果により、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。令和3年は新型コロナウイルスの影響により減少したが、令和4年は回復傾向を見せており、継続した取組による成果の向上は期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▼ 理由・内容 廃止・休止した場合、観光客へのサービスの低下につながり、観光客が減少する恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 観光客等の利用状況に応じて業務内容を見直すなど、効率的な事業運営に努めることにより、事業費の削減余地はある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 職員の事務は、委託契約事務、進捗管理等、必要最小限となっており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▼ 理由・内容 受益者は観光客、市民であり、公平と言える。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 2 改革改善(縮小・統合含む)	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 効果的な情報発信により認知度向上に努める。 令和4年度末で、綾里・三陸の観光センターを廃止した。																							
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	●		×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 2 改革改善(縮小・統合含む)	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 観光客等の利用の少ない観光センターについては廃止するが、存続する観光センターについては、効率的な観光情報の発信を行うなど、観光客の増加に資する取組を進める必要がある。
-------------------------------	--